

6 通学

児童生徒はスクールバスを利用することができます。各バスにはそれぞれ介助員も乗っており、安全運行に努めています。
※社会参加・自立を進めるため、自力通学の指導を進めています。



スクールバス登校風景



自力通学指導風景(中高)



自力通学風景(中高)

7 教育相談

本校では、就学前幼児及び児童生徒の支援・指導についての相談や、学校見学に応じております。お気軽にご相談ください。(事前に連絡をお願いします)
第1回学校公開日(小中高)を5月26~27日に予定しています。又、体験入学については各学部にお問い合わせください。

8 入学案内

小学部、中学部への入学につきましては、沖縄県教育委員会からの通知に基づいて入学することになります。
幼稚部・高等部への入学は、入学選考を行います。入学を希望される方は、本校へお問い合わせください。

9 幼児児童生徒数

平成28年5月1日現在

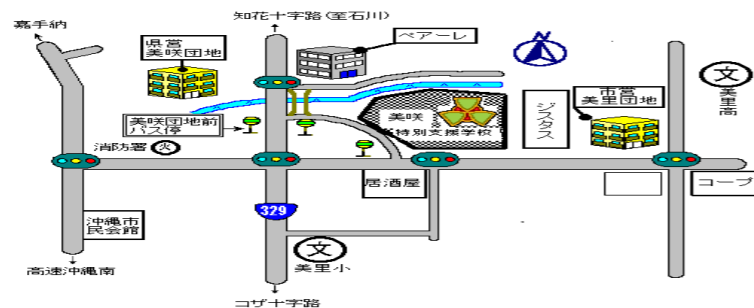
	学級		児童生徒					通学方法		
	一般	重複	一般	重複	男	女	合計	自力	送迎	スクールバス
幼稚部	2	0	9	0	5	4	9	0	9	0
小学部	12	17	58	49	79	28	107	0	55	52
中学部	8	15	41	43	60	24	84	2	23	59
高等部	14	11	95	30	85	40	125	46	27	52
合計	36	43	203	122	229	96	325	48	114	163

10 教職員の実数

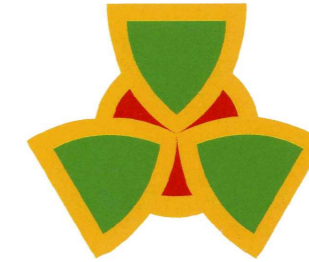
平成28年5月1日現在

職種・性別	校長	教頭	幼稚部教諭	小学部教諭	中学部教諭	高等部教諭	養護教諭	実習助手	学校事務	司書	栄養職員	運転士	介助兼運転士	介助員	用務員	調理員	非常勤	合計
男	1	1	1	15	19	26	0	2	2	0	0	0	0	5	1	0	1	74
女	0	1	3	35	24	29	2	0	3	1	1	0	0	1	1	0	4	105
計	1	2	4	50	43	55	2	2	5	1	1	0	0	6	2	0	5	179

学校案内図



平成28年度 学校案内



きれいに
咲こうよ(主体性)
咲かそうよ(支援)

美咲特別支援学校 教育活動キャッチフレーズ



沖縄県立美咲特別支援学校

〒904-2153
沖縄県沖縄市美里4丁目18番1号
TEL: 098-938-1037・7789・1140
FAX: 098-938-7700
URL: <http://www.misaki-sh.open.ed.jp/>
E-mail: school@misaki-sh.open.ed.jp

1 学校の概要

本校は昭和47年1月に琉球政府立中部養護学校として認可され、2月に設立準備事務所を美里小学校図書館に移す。翌月には美里公民館及び美里青年会館を仮校舎として借用し、3月には「琉球政府立美咲養護学校」、5月10日に開校式挙行（小学部22名、中学部14名）その後、校名を「沖縄県立美咲養護学校」と改め、昭和51年には高等部が設置される。

平成8年には校舎の全面改修を行い施設・設備が一新され快適な学習環境になった。平成8、9年度は文部省指定の「障害児の就学指導に関する調査研究」協力校に指定される。平成12年1月には幼稚部設置及びプール改築工事が決定、平成13年4月に念願だった幼稚部の入学式が挙行された。平成13年度の10月には緑化コンクール「準特選」沖縄県緑化推進委員より表彰を受ける。

平成21年4月1日校名を「美咲特別支援学校」と改める。昨年4月に本校過密化解消を図るため、北中城村の沖縄ろう学校敷地内に、「美咲特別支援学校はなさき分校」が開校し、現在は幼児・児童・生徒数313名、職員176名となった。本校は今後も分校と連携・協力しながら「自立し、社会参加・貢献」のできる幼児・児童・生徒の育成と特別支援教育のセンター校として取り組んでいく計画である。

2 本校の教育目標

21世紀に生きる日本国民として、わが国(郷土)の歴史と文化を継承発展させ、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し社会の変化に主体的、積極的に対応できる強い心を持ち、心豊かで、たくましく生き、自立し社会参加・貢献のできる幼児児童生徒を育成する。

具体目標

1. 健康な身体と明るいい心を育てる。(健康で明るい子)
2. 日常生活を豊かにする生活習慣を育てる。(身のまわりのことができる子)
3. 豊かな情操を育て、コミュニケーション能力を育てる。(心豊かな子)
4. ねばり強く最後までやりぬく力を育てる。(最後までやりぬく子)
5. 職業自立をめざし、社会参加に必要な能力を育てる。(自ら学ぶ子)

3 本校の教育目標を達成する為の基本方針及び目標

- (1) 本校教育目標の共通理解を図り、幼・小・中・高等部一貫し系統性のある教育の推進に努める。
- (2) 本校教育目標を受け、学部目標の設定及び充実した学部、学年、学級経営に努める。
- (3) 個人目標の設定及び「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と、学級、学年、学部間の一貫した指導体制の確立を図る。
- (4) 幼児児童生徒の生活年齢、発達段階及び障害の状態等に応じた教育課程を編成し、実態に即した指導の充実に努める。
- (5) PDCAサイクルを活用した授業を展開し、評価に応じた授業改善に努める。
- (6) 幼・小・中・高等部の連携を図り、一貫した進路指導体制の確立に努める。
- (7) 学習環境の整備充実を図り、学習効果を上げる。
- (8) 交流及び共同学習を推進し、地域社会及び父母との連携を図る。
- (9) 福祉、医療、労働等の関係機関との連携を図る。
- (10) 幼児児童生徒の情緒の安定を図り、感動、感性を高める教育活動の創出に努める。

4 本年度の重点目標

- (1) 一人一人の基本的生活習慣の形成、興味・関心、コミュニケーションの状況、手伝いや働く力等の実態を把握し目標設定に即した指導を行う。
- (2) キャリア教育の視点を踏まえた指導を行い、幼児児童生徒の主体的活動を促し生きる力を育む授業力の向上を図る。
- (3) 教育内容精選や効果的な指導方法について実践的に研究する。
- (4) 個別的教育支援計画と連動した個別の指導計画の作成・活用を通して、途切れない指導・支援定着を図る。
- (5) 幼児児童生徒の生活上の課題を的確に把握し、興味・関心、得意なことを手だてに生活課題の改善・解決と生活活動圏及び活動内容幅の拡大を図る。
- (6) 幼・小・中・高等部の一貫した進路指導体制を確立し、高等部における就業体験を充実させ、生活支援センター等の労働・福祉関係機関や保護者と連携協力し、職場開拓を進め、卒業後の働く場の確保に努める。
- (7) 家庭と連携した食育を実践し、偏食や肥満等の改善を図る。
- (8) 特別支援教育のセンター的役割として、特別支援部を中心に福祉、医療、労働及び市町村等の関係機関との連携と支援会議を強化し、幼児児童生徒の支援に努める。
- (9) 基本的生活習慣の形成及び確立に向け、全幼児児童生徒が上手にあいさつが出来、時間を守るように努める。

5 本校の特色

教育内容として、幼稚部では遊びと基本的生活習慣の育成を中心に、小学部では各教科、自立活動、領域・教科及び各教科等を合わせた指導（日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習）、中学部でも各教科、自立活動、総合的な学習の時間をはじめ領域・教科及び領域・教科を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習）、高等部では各教科をはじめ作業学習を中心とした指導形態をとっている。



「遊びの指導」(幼稚部)



「給食の指導」(小学部)



「音楽」授業風景



「美術」授業風景



「日常生活の指導」



「体育」授業風景



「自立活動」(中学部)



「自立活動」(高等部)



「洗車」(高等部)



「環境美化」(高等部)



「家庭」(高等部)



「窯業」(高等部)

[幼稚部・小学部]

幼稚部・小学部では日常生活の指導を軸に、基本的生活習慣の形成や集団生活への参加に必要な知識・技能を身につけさせ「生活する力」を育てる指導を行っています。

[中学部]

中学部では、生活単元学習を中心に教育課程を編成し生きる力を高め、自立し社会参加・貢献のできる生徒の育成をめざしています。生活経験を豊かにし、将来の職業生活や社会生活に必要な協調性、責任感、集中力等を身につけさせる指導も行っています。

[高等部]

高等部では、作業学習を軸に「生活中心」の教育課程を編成し、生活力を高め、自立し社会参加・貢献のできる生徒の育成を目指しています。特に校内実習、産業現場等における実習等を通して体験的な学習を重視しています。

※自立活動

幼児児童生徒の発達の偏りを改善・克服し発達の基盤となる基礎的能力の伸長を図っています。健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション等個々の幼児児童生徒の実態に応じて指導されています。

※作業学習

中学部及び高等部においては、家庭生活や職業生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を習得させるとともに、勤労を重んじ、進んで作業を行う態度を養うために、次のような種目で作業学習を行っています。

○全体作業 (高等部)

農業班、洗車班、家庭班
木工班、窯業班、環境美化班

○学年作業 (中学部及び高等部)

(中学部)
農業班、家庭班
(高等部)
農業班、木工班、家庭班、洗車班
窯業班、環境美化班